

文化プログラムについて

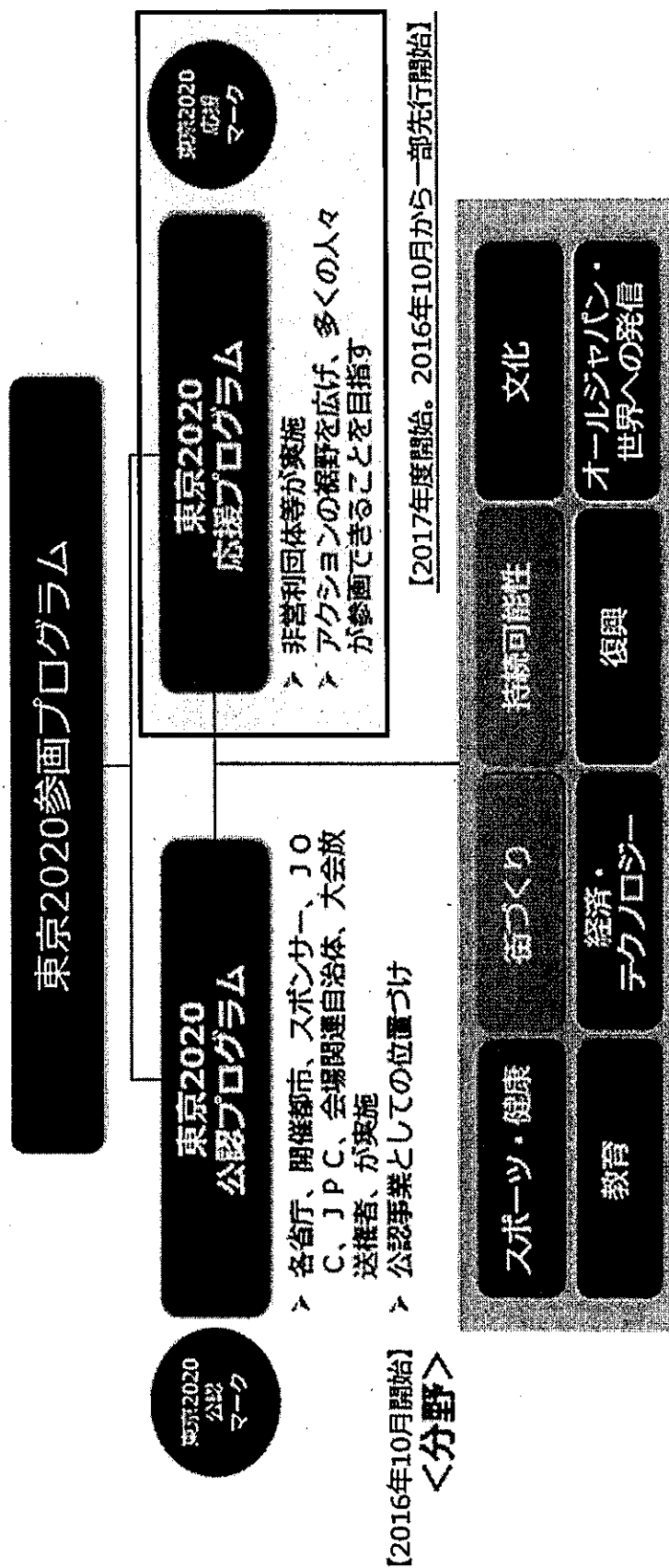
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活かすとともに、それ以降も様々な文化芸術活動の発展等を目指し、今後、全国において様々な取組が展開される。

1. 国等の動向

■東京2020参画プログラム[東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会]

プログラムの枠組み

<2つのプログラム>



2016年8月からの申請対象は、原則として組織委員会が直接申請を受け付ける団体とし、今後、会場関連自治体以外の市町村や非営利団体などに、順次拡大する予定

プログラム参画のメリット

■東京2020大会とつながる（オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成）

- オリンピック・パラリンピックとの関連性・つながりを生み出すことができる
⇒アクション主催者・参加者等に東京2020大会に向けた参加感を創出

■地域でつながる（地域住民や関係団体等との連携）

- 主催者と参加者、参加者同士のつながり等、新たな関係性を構築することができる
⇒地域が連携して機運を盛り上げていく機会を創出

■全国とつながる（活動の知名度向上と連携の拡大）

- 組織委員会から全国への情報発信を通じ、地域や団体の情報を広くPRすることができる
⇒活動の知名度向上と他団体等との幅広い連携に向けた機会を拡大

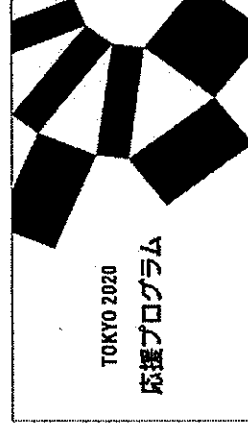
■未来につながる（次世代とのつながりやレガシーの創出）

- 幅広い交流を通じ、未来に残すべき伝統、知恵等を次の世代に継承する機会を生み出すことができる
⇒幅広い参画・交流や継続的な実施等を通じて、未来（レガシー）につなげる機会を創出

■認証を受けたアクションは、東京2020応援プログラムのロゴマークを使用することができる。

■アクションのタイトル以外（説明文等）に、「オリンピック・パラリンピック」等の文言を使用することができる。

■当該アクションの告知、実施、報告に「東京2020応援プログラム」の用語を使用することができる。

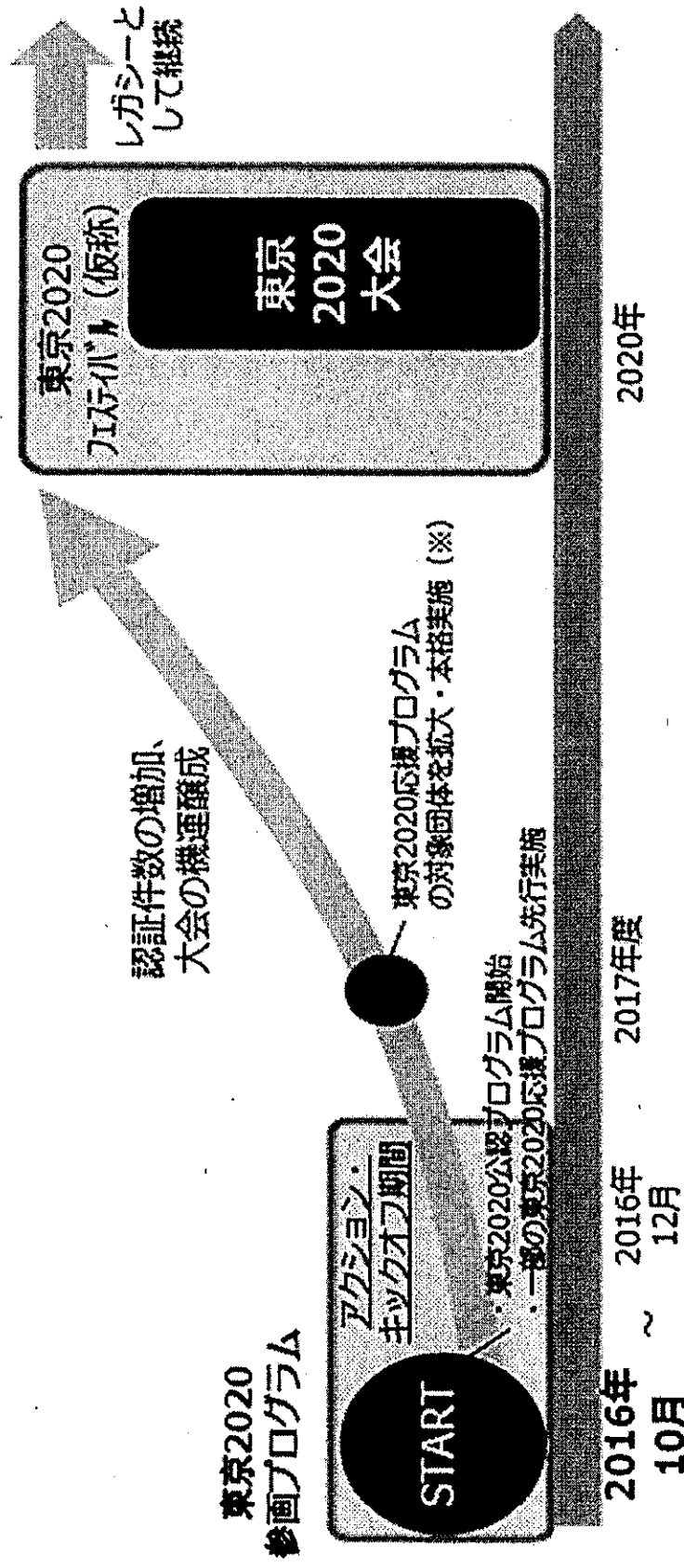


東京2020応援マーク

※プログラムに参加することによる直接的な補助金、交付金はない。

スケジュール

この秋から、2020年に向けて、東京2020参画プログラムが始まります！



※東京2020参画プログラムについてはIOCと協賛的な関係が必要なこと、また、立ち上げ時には案件母の蓄積を丁寧に行う必要があること等を鑑みると、2016年10月のスタート時は、まずは対応可能な範囲でスタートさせ、その後、段階的に対象を拡大していく予定
(例) 都内の区市町村を経由して申請する非営利団体は、2017年度から申請対象とする予定

- 応援プログラムは、2016年10月から一部先行開始されているが、申請対象は府県・政令市や経済界協議会(日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所)に限られる。
- 2017年度以降の本格実施に向けて、市町村や非営利団体にも申請対象を拡大予定。
- スポンサー企業以外の営利団体は申請対象にならない。

■beyond2020プログラム[内閣官房]

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部が主体となって日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシー創出に資する文化プログラム。認定し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開する。

※参画プログラムの申請対象とならないスポンサー以外の民間企業等も視野に入れたプログラムを実施。

開始時期:2016年12月 ※ロゴマークは2017年1月中旬に決定予定。

■スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催[文化庁]

ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマ스터ズゲームズ2021に向けて、観光とも連動させつつ、スポーツや文化による国際貢献や有形・無形のレガシー等について議論、情報発信し、国際的な機運を高めるためのキックオフイベントとしての国際会議を京都と東京で開催。

2016年10月19日(水)～10月20日(木): 京都(ロームシアター京都等)
2016年10月20日(木)～10月22日(土): 東京(六本木ヒルズ等)

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウムの開催[東京都・東京都議会]

「2020年に向けて日本全国みんなで盛り上がるう」をテーマとしたシンポジウムの開催。
大会に向けた盛り上がり・レガシー創出のため、東京2020組織委員会が開始した参加型プログラムの事例紹介や、「日本各地での盛り上がり」とレガシー創出のためのアイデア」を題材とするパネルディスカッション等を実施。

2016年11月28日(月): 東京(TKPガーデンシティ品川)

■東京2020参画プログラムへの関わり

- プログラムの
フレームワーク

参画プログラム認証マーク

■ 滋賀文化プログラムの策定

- ・平成28年3月に「(仮称)滋賀文化プログラム(案)」を県として作成。
- ・平成28年11月に県内全市町の担当者と意見交換。
- ・今後、「(仮称)滋賀文化プログラム推進会議」を立ち上げ、市町や関係団体と協議しながら滋賀県としてまとまりをもって県内外に発信していく「文化プログラム」の策定を進める。



